

経済連情報 3

安全・安心・新鮮でおいしい
静岡県産の農畜産物をお届けします。

● 2024. 3
● NO.1314

JA静岡経済連の令和6年度機構改編について 令和5年産米食味ランキング発表 本県産「にこまる」、「きぬむすめ」が「特A」を獲得

Main topics

JA静岡経済連の令和6年度機構改編について…01
令和5年産米食味ランキング発表
本県産「にこまる」、「きぬむすめ」が「特A」を獲得…02

topics&news

産地の課題解決
産官学技術交流事業報告会……………03
静岡の貯蔵ミカンをPR
品評会受賞の貯蔵ミカンを県知事に贈呈…03
栽培技術向上のために
第44回静岡県中晩生柑橘品評会 ……04
県産農産物輸出の取り組み
輸出関係企業へ商品提案会を実施 ……04
日本最大規模の花の展覧会
第72回関東東海花の展覧会 ……05
県産農産物の輸出拡大へ
静岡いちごを台湾へ初出荷 ……05
静岡いちごの消費宣伝
東京都内の商業施設で静岡いちご特設ブースを出展…06
静岡いちご娘がPR
テレビ・ラジオ番組で静岡いちごをPR……………06

営農支援だより

いちごの育苗を考える……………07

お知らせ

流通開発課からのお知らせ ……08
テレビ番組「しずおかごはんが食べたい!」のご紹介…09
あぐりんく静岡からのお知らせ ……09
キャラバン隊活動報告 ……10



▲第44回静岡県中晩生柑橘品評会



▲東京都内の商業施設で静岡いちごの消費宣伝を実施

J A静岡経済連の 令和6年度 機構改編について

機構改編について

1. 名称変更及び業務を移管する部署
2. 名称変更及び業務を移管する部署

沼津市の東部エネルギー事業所の業務を総合エネルギー課に移管します。なお、東部事業所内に同課の東部駐在を配置します。

②建設部
建設部を廃止し、所管する建設課、一級建築士事務所をくらし支援部に移管するとともに、建設課を「資産活用課」に名称変更します。

③西部畜産センター
西部畜産センターの名称を「経済連畜産センター」に変更し、県下の畜産センター業務を統括します。

④東部畜産センター
東部畜産センターの業務を「経済連畜産センター」に移管します。なお、旧東部畜産センターに経済連畜産センターの東部駐在を配置します。

I はじめに

令和6年度は、「J A静岡2か年計画」の最終年度であり、計画の着実な実践とその成果が求められるとともに、次期3か年計画の樹立の年となります。

そのため、現行の機構を基本に、次期計画の樹立を見据え、本会の経営状況に即した体制整備を行うとともに、J A事業へのサポート体制の強化を目的に機構改編を実施します。

II 機構改編の内容

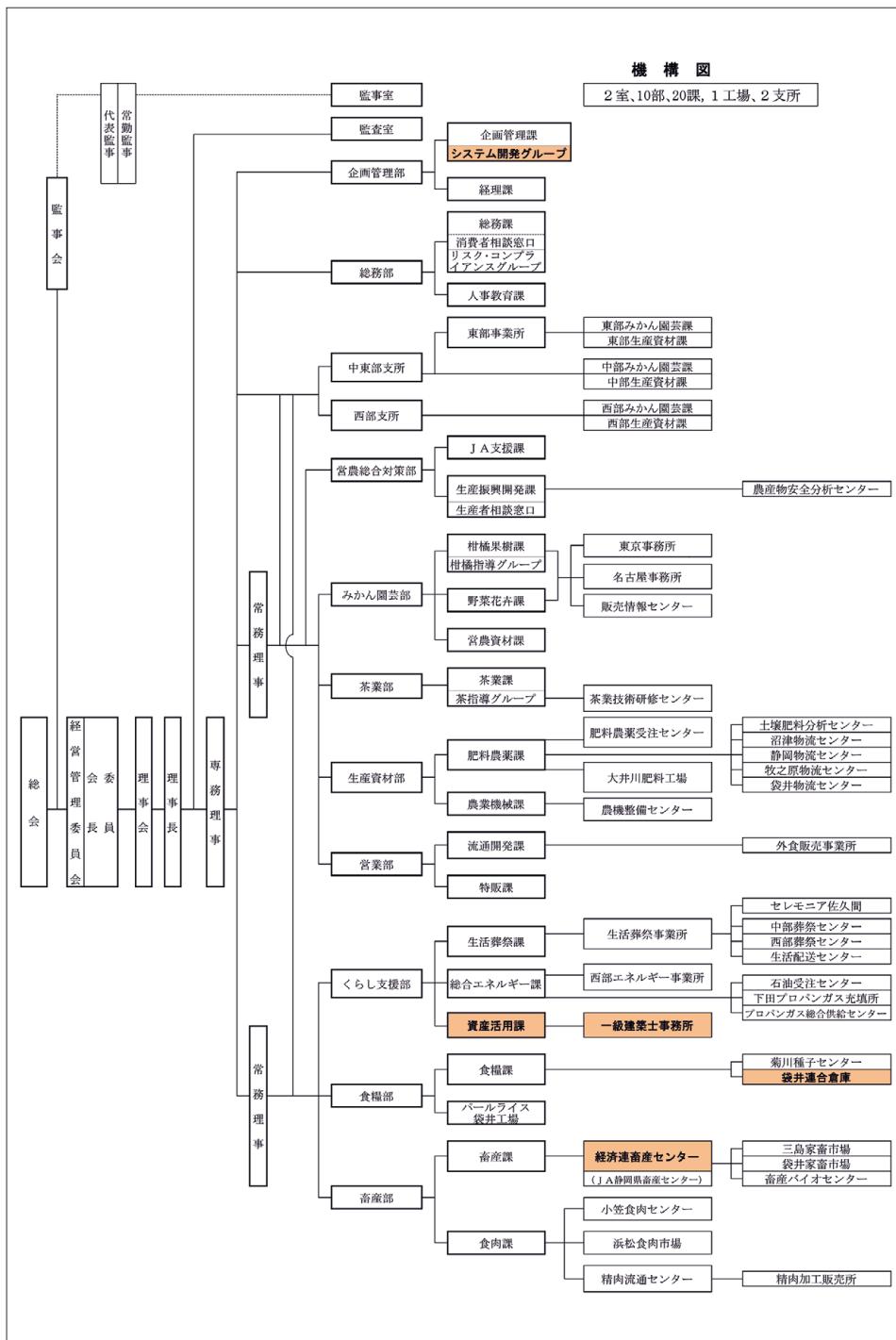
1. 新設する部署

①システム開発グループ

企画管理課内に、令和8年度の静岡県食肉センター新設に向けた業務システム等の構築を目的とした「システム開発グループ」を新設します。

②袋井連合倉庫

食糧課の配下に、共同計算米の保管を行うなど、県下J Aの農業倉庫事業を補完するため「袋井連合倉庫」を新設します。



令和5年産米食味ランキング発表

本県産「にこまる」、「きぬむすめ」が「特A」を獲得

I はじめに

日本穀物検定協会は2月29日、令和5年産米の食味ランキングを発表しました。米の食味ランキングは同協会が良質な米作りの推進と消費拡大を目的に昭和46年から毎年発表しているもので、外観や味、粘りなどの6項目の審査により「特A」、「A」、「A」、「B」、「B」の5段階で格付けします。

令和5年産米は、道府県から選出された144産地品種について食味官能試験を行い、前年の40を上回る43銘柄が最高位の「特A」を獲得しました。

II 静岡県産米の結果

本県からは5銘柄を選出し、東部・西部地区の「きぬむすめ」と西部地区の「にこまる」が「特A」評価、「コシヒカリ」と中部地区の「きぬむすめ」が「A」評価を獲得しました。

本県産「きぬむすめ」は3年ぶり、西部地区の「にこまる」は6年連続

の「特A」評価獲得となりました。他産地では、新潟・魚沼「コシヒカリ」、山形の「つや姫」、北海道の「ゆめぴりか」などの有名ブランド米も同じく「特A」評価を獲得しています。

III 「きぬむすめ」「にこまる」について

1. きぬむすめ

「きぬむすめ」は粒が大きく粘りがあり、炊き上がりの白さとツヤ、ふっくらとした食感が特徴です。本

会商品である本県産「きぬむすめ」のパッケージは静岡大学の学生がデザインしました。

2. にこまる

「にこまる」はもちもちとした食感と強い粘りがあり、ふっくらとした炊き上がりで冷めても硬くなりにくいのが特徴。笑顔がこぼれるほどおいしく、米粒が丸々として張りのあることから名づけられました。

IV おわりに

令和5年産米は、夏場の猛暑や少

雨などの影響で難しい栽培環境となった中、いずれの品種も高温に強い特性を活かした適切な栽培管理と生産者の皆さんの努力が結果につながり本県から選出した銘柄はいずれも高い評価を受けました。

本会は、引き続きJAや生産者の皆様と一丸となって、県産米の消費拡大に取り組み、生産者の所得向上に努めてまいります。

問い合わせ先

● 食糧部 食糧課

電話…054-284-9737



産地の課題解決 産官学技術交流事業報告会



▲講演のようす

静岡県産地技術課題解決研究会（事務局：生産振興開発課）は1月30日、県農業会館で令和5年度静岡県産官学技術交流事業報告会を開催し、JA、県、大学などからオンラインを含めて約130人が参加しました。

同研究会は、産官学技術交流を推進する組織として、本県産地の活力増強を目的に平成20年に発足。新技術の開発と現地での実証、営農技術情報の収集と発信を行っています。

報告会では、県とJAから産地の課題と解決に向けた現地試験、取り組みの結果についての講演を行いま

した。県食と農の振興課は、みどりの食料システム戦略の実現に向けた施策展開について、アイガモロボットによる水稻雑草抑制や衛星画像のAI解析を活用した土壌診断などの事例を紹介し、有機農業の拡大と慣行栽培からの転換を進めていくことを報告しました。JAからは、病害虫防除や多収品種の栽培技術などについて今年度の各産地での取組課題と結果を報告しました。

JAからの報告事項は次のとおり

- ① JA遠州中央の赤しそ栽培とコガネムシ対策について（JA遠州中央）
- ② 耕種作物における課題と現地試験の報告（水稻及びダイズ新品種における現地適応性の確認）（JA遠州中央）
- ③ さつまいもの安定栽培及び貯蔵技術の確立に向けて（JA大井川）
- ④ 令和5年度サツマイモプロジェクト 品質・収量向上に向けて（JA遠州中央）
- ⑤ 富士しきみに発生する病害虫調査について（JAふじ伊豆）
- ⑥ 水稻栽培におけるノンコート肥料試験（JA静岡経済連）

静岡の貯蔵ミカンをPR 品評会受賞の貯蔵ミカンを県知事に贈呈



▲川勝知事への贈呈

1月31日、静岡県経済連柑橘委員会（事務局：柑橘果樹課）は、静岡市葵区の静岡県庁で、第58回静岡県貯蔵ミカン品評会において上位入賞した貯蔵ミカンを川勝平太静岡県知事、森貴志副知事に贈呈しました。

贈呈したミカンは最高位となる農林水産大臣賞を2年連続で受賞した高橋誠さん（JAみつかび）のミカン。贈呈式には高橋さんの他、品評会で上位に入賞した倉田辰夫さん（JAとびあ浜松）、石倉健さん（JAふじ伊豆）、清水一則さん（JAみつかび）と同委員会の森田能正委員長ら役員が出席しました。

高橋さんは「今年は夏場の暑さなどで難しい栽培環境だったが、糖度が高く良いミカンができた、静岡の美味しい貯蔵ミカンをぜひ食べて欲しい」と話し、川勝知事は「生産者の努力で高品質なミカンが収穫できたことは県の誇り。生産コストが上がっているが、県としても生産者を支えられるよう協力したい」と応えました。



▲森副知事への贈呈



▲川勝知事と懇談する生産者ら

栽培技術向上のために 第44回静岡県中晩生柑橘品評会

静岡県柑橘振興基金協会と柑橘果樹課は2月15日、県農業会館で「第44回静岡県中晩生柑橘品評会」を開きました。

生産者の栽培技術向上が目的で、県内9JAから「はるみ」75点、「不知火」43点、「甘夏」69点、「ポンカン」57点の計244点が出品されました。県農林技術研究所果樹研究センターの松浦英之センター長が審査長を務め、県や市場の担当者、消費者代表ら18人が形状などの外観と糖度、酸度や食味を審査しました。なお、ポンカンの審査は1月16日に行いました。（本誌2月号に掲載）



▲優秀賞の展示



▲出品物の品質を確認する審査員ら▲



各品種の糖度・酸度の結果と優秀受賞者は表のとおり（敬称略）。

第44回 静岡県中晩生柑橘品評会優秀受賞者

品種	特別賞	JA名	氏名
不知火	農林水産省関東農政局長賞	JAしみず	望月孝芳
はるみ	静岡県知事賞	JA大井川	伊藤茂樹
ポンカン	静岡県経済産業部長賞	JAしみず	西ヶ谷悦子
甘夏	日本園芸農業協同組合連合会会長賞	JAしみず	杉山昌巳

果実分析（糖度・酸度）の結果

		はるみ	不知火	甘夏	ポンカン
糖度	最高	14.7	17.2	12.4	13.9
	平均	13.0	14.4	11.0	12.5
酸度	平均	1.16	1.48	1.61	0.93

（単位：度）

県産農産物輸出の取り組み 輸出関係企業へ商品提案会を実施

流通開発課は1月25日、県農業会館でシンガポールへ向けた県産農産物の輸出推進として、同国に日本式の高級スーパーマーケットを展開する（株）明治屋と農畜産物の輸出事業を行うJA全農インターナショナル（株）、JA全農インターナショナルアジア（株）の担当者へ商品提案を行いました。ミカン、レタス、タマネギなどの青果物や茶、米、飲料商品などをPRした他、海外の消費者が手に取りやすいイチゴの少量パックなどを提案しました。

また、26日にはJA大井川のイチゴほ場とKADODEE O O I G A W Aの視察巡回も行いました。



日本最大規模の花の展覧会 第72回関東東海花の展覧会

関東東海地域1都11県と花き関係6団体は1月25日から28日の4日間、東京都豊島区のサンシャインシティ文化会館で「第72回関東東海花の展覧会」を開きました。消費者の花への理解を深めるとともに、消費拡大を図ることが目的で、品評会やフラワーデザインコンテスト、フラワーアレンジメントなどのイベントを行いました。

品評会では、バラやカーネーションなど全10部門に1531点が出品され、品質や商品性を審査しました。本県からは170点が出品され、金賞10点、銀賞22点、銅賞21点が入賞しました。

県内金賞受賞者は次のとおり（敬称略、カッコ内はJA名もしくは市町村名と品種名）。



カーネーション部門

金2席 農林水産省農産局長賞

田村 俊宣（JAふじ伊豆・シャンソン）

金3席 全国農業協同組合中央会長賞

田村 雅代（JAふじ伊豆・カルミナクララ）

バラ部門

金2席 農林水産省農産局長賞

浅野 勝央（JA大井川・チアフル）

一般切花部門

金2席 農林水産省農産局長賞

伊藤 敏幸（JAとびあ浜松・ガーベラ「ペルシケケーキ」）

金3席 全国農業協同組合中央会長賞

鈴木 顕一（JAふじ伊豆・キンギョソウ「雪姫」）

金4席 日本花き卸売市場協会会長賞

渡邊 勇暁（JAふじ伊豆・トルコギキョウ「セレブクリスタル」）

金5席 静岡県知事賞

鈴木 秀平（JAとびあ浜松・スイートピー「グレース」）

一般鉢物部門

金5席 農林水産省関東農政局長賞

大川 和也（三島市・プリムラ「富士桜」）

枝物部門

金6席 日本花き生産協会会長賞

野澤 良行（JAとびあ浜松・ユウカリ「丸葉ユウカリ」）

花苗部門

金7席 静岡県花卉園芸組合連合会長賞

中村 和明（沼津市・オステオスペルマム「アキラグラウンドキャニオン」）

県産農産物の輸出拡大へ 静岡いちごを台湾へ初出荷

流通開発課は2月5日、JA大井川園芸協議会毎部会と連携し、県内で初めて台湾に向けて県産イチゴの主力品種「紅ほっぺ」と「きらび香」320パックを出荷しました。

日本のイチゴは海外においても人気が高く、本県産のイチゴは東アジアや米国などを中心に同課が輸出を行っている。台湾への輸出に向けた取組は3年前から始まり、JA大井川と生産者が協力、国、県などの関係機関や全農インターナショナル(株)の連携のもと、台湾の残留農薬基準に則した産地づくりを進めてきました。

今年度は天敵（生物農薬）を利用してダニの発生を抑えるなどのIPM（総合的病害虫・雑草管理）に取り組み、現地と国内の両検査機関で基準をクリアしたことから、県内で初めて台湾への出荷が実現しました。同JAの農産物集出荷場では、計5回の集荷で、約400キロのイチゴの輸出を計画しています。

営業部の鈴木久義部長は「輸出を始めたのは生産者の努力のおかげ。今後も様々な農産物を輸出し、生産者の所得につなげていきたい」と話しました。



▲集出荷場で出荷の準備を進めるJA担当者と同課の箕浦秀紀課長補佐▲

静岡いちごの消費宣伝

東京都内の商業施設で 静岡いちご特設ブースを出展

静岡県いちご協議会（事務局・野菜花卉課）は2月3日から11日まで、東京都江東区の商業施設「ダイバーシティ東京プラザ」で静岡いちごの特設ブースを出展しました。

静岡いちごの消費拡大や認知度向上が目的で、同施設のイベント「台場いちご祭」の開催に合わせ、静岡いちごのポスターを入口や館内に掲出しました。

ブースでは、イチゴの販売会や静岡いちごが当たるガチャガチャなどのイベントを実施。イベント初日の3日には「静岡いちご娘」が買い物客に「紅ほっぺ」と「きらぴ香」の食



べ比べができる試食品を配布し、静岡いちごをPRしました。

静岡いちご娘がPR

テレビ・ラジオ番組で静岡いちごをPR

静岡県いちご協議会（事務局・野菜花卉課）は静岡いちごの消費拡大のため、「静岡いちご娘」のメディア出演による静岡いちごのPR活動を実施しました。

1月25日には、テレビ番組「ただいまテレビ」月々金曜16時50分からテレビ静岡で放送）に出演。静岡生まれの「章姫」、「紅ほっぺ」、「きらぴ香」の3品種を紹介し、スタジオで食べ比べをしました。

1月28日は、静岡いちごのイメージキャラクターを務める池田美優（みちよば）さんがパーソナリティを務めるラジオ番組「#みちよパラ」（ニッポン放送）の公開収録イベント



▲ニッポン放送「#みちよパラ」公開収録の様子

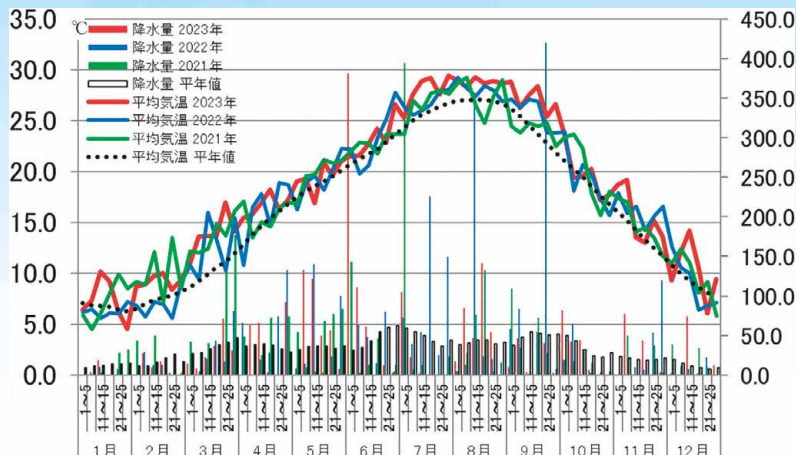


▲テレビ静岡「ただいまテレビ」番組放送の様子▲



トが東京都内で行われ、番組では、イチゴに関するクイズなどを交えて静岡いちごをPRしました。

▼グラフー1 近年の気温と降水量(静岡地方気象台データより)



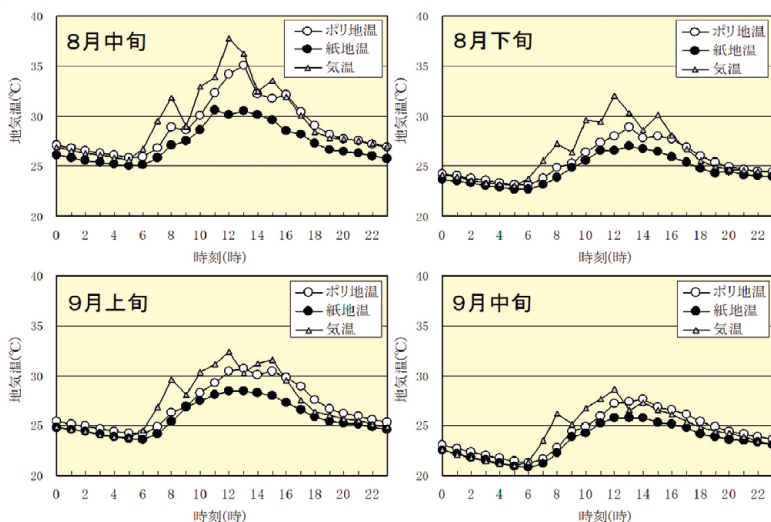
いちごの育苗を考える

一はじめに

近年、いちごの育苗期の高温が問題となっています(グラフー1) 気温の上昇と共にポット内の地温も上昇し根の発根不良や根傷みも多くなっている。

同時に、9月の気温も下がりにくく高温で推移している為、花芽

▼グラフー2〜5 時期別 ポットの違いによる培地温度の比較(農林技術研究所データより)



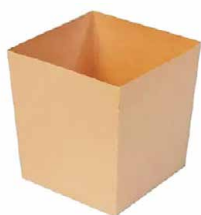
二 健全な根を張らせるための育苗方法

分化が遅れてしまい年内出荷量の減少が目立つようになってきている。特に令和5年は残暑が厳しく過去1番遅い花芽分化となり、普通ポット育苗したのも10月になって花芽分化したものが増加しました。そのため、年末ギリギリの出荷開始となりました。

花芽分化促進の為に導入されている紙ポットを利用した育苗がポリポットでの育苗と比較して地温を下げる事が可能である(グラフ12〜5)

グラフでも確認できるように気温の上昇と共に地温も上昇しますが、8月中旬のポリポットの地温が35℃前後まで上昇していますが、紙ポットの地温は30℃程度で止まっています。時期にもよりますが、2〜5℃程低くなっているのがわかります。

2〜5℃程低くなっているのがわかります。



▲花芽前進紙製ポット



▲花菜ポット

三 花芽分化を早めるポイント

花芽分化時期の9月上旬の紙ポット表面が乾き過ぎないように観察し、灌水回数を増やすなどする必要があり。また、ポットを並べる時に間隔を開けて風通しを良くする事で蒸散効率を上げる事ができ、花芽分化を早める事に繋がります。

健全な根を張らせる事と花芽分化を早める事で年内収量を確保するようにしましょう。

(野菜花卉課 技術コンサルタント 渥美忠行)

流通開発課からのお知らせ

直営焼肉店「駿府の肉処 静岡そだち」

・公式LINEアカウントを開設

2月より「駿府の肉処 静岡そだち」公式LINEアカウントを開設しました。キャンペーンやクーポンなどのお得な情報を配信、LINEからのご予約も承ります。さらに、新たに友だち追加をされたお客様に「特選和牛静岡そだち」30gをプレゼント！この機会にぜひご利用ください。

※公式アプリは2月末で終了となりましたので、LINEアカウントへの移行をお願いします。

LINE友だち追加
はこちら



・セルフオーダーシステムを導入！タッチパネルで注文可能に

2月中旬より全席にセルフオーダーシステムを導入しました。タッチパネルからお好きなメニューを注文いただけます。

・支払方法の変更について

POSレジの変更に伴い、バーコード決済が対応不可となりますが、新たに交通系ICとiDでの決済が可能となりました。



JAタウンしずおか『手しお屋』

インターネット通販サイトJAタウン「しずおか『手しお屋』」の認知拡大と、取扱商品について各産地の取り組みや商品特徴を消費者にPRするため、テレビ番組で特集を放送しました。

・JA遠州夢咲「待ってたトマト」

JAタウンのオリジナルテレビ番組、TOKYO MX「JAタウンPresents “おいしい日本”をいただきます！」でJA遠州夢咲の「待ってたトマト」を特集しました。掛川市の生産者・石谷文紀さんが番組に出演しトマト作りのこだわりを紹介。リポーターを務めたタレントの根本凧さんは、実際にトマト苗の定植を行い生産者の作業を体験しました。

静岡朝日テレビ「とびっきり！しずおか土曜版」（2月24日放送）でも特集を放送。番組では、収穫したばかりのトマトと生産者おすすめの食べ方として数日追熟させたトマトを食べ比べし、味の変化を紹介しました。JA遠州夢咲の「待ってたトマト」は5月中旬まで販売予定です。



・JAふじ伊豆（御殿場地区）「干し芋」

テレビ静岡「ただいま！テレビ」（2月22日放送）でJAふじ伊豆御殿場地区の「紅はるかの干し芋」を特集しました。番組では、同JA地区営農課・根上尚士さんが出演し、お笑い芸人のにむらあつとさんに芋の貯蔵から干し芋製造工程を紹介。産地の干し芋づくりへのこだわりをPRしました。JAふじ伊豆の「紅はるかの干し芋」は3月末までの販売予定です。



しずおか手しお屋

検索

JAタウンしずおか「手しお屋」
ページはこちら▶



「しずおかごはんが食べたい！」(テレビ静岡)

担当：食糧部 食糧課 (TEL:054-284-9737)

静岡県産米流通連絡協議会（事務局：食糧部）は、テレビ番組「しずおかごはんが食べたい！」（テレビ静岡・全11回放送）に協賛し、県産米のPRを行っています。

令和5年度の第10回目（2月17日）の放送では、お笑い芸人のモグライダーが掛川市と菊川市から「掛川コシヒカリ」を紹介しました。「掛川コシヒカリ」は、強い粘りと噛みしめるほどに広がるうま味と甘みが特徴のコシヒカリです。

番組では、JA掛川市の生産者、平尾正康さんがビデオメッセージで出演し、「掛川コシヒカリ」をPRしました。

また、JA掛川市のファーマーズマーケット「新鮮安心市場 さすが市」も紹介しました。



【 営農ナビ 】

文字が大きく見やすくなってリニューアルしました！

あぐりんく静岡からのお知らせ

県内
JA限定

生産・事業推進に役立つ情報が満載！！

農産物安全分析センター

分析メニュー、申込書、分析フロー（手順）を掲載しています。分析の際はコチラから！

経済連肥薬通信

更新

経済連肥薬通信3月号

経済連コンサルタントによる技術情報

産地情勢（青果）

トマト、いちご、レタスの各産地から寄せられた生育・出荷状況を掲載しています。

販売情報

東京、名古屋、大阪の青果・花卉の概況を掲載しています。

●イントラから利用できます。

～他にも、農畜産物別の情報なども充実～

担当：営農総合対策部 生産振興開発課（TEL 054-284-9729）

キャラバン隊 活動報告

ふれあいから学ぶ
接客研修

人事教育課は、令和5年10月から令和6年1月にかけて「令和5年度営業・接客研修（キャラバン隊）」を実施し、本会2年目の職員6人が参加しました。研修は、本会が運営する外食販売事業所「駿府の肉処 静岡そだち」での接客研修とKADODE OOIGAWA、Aコープ店舗での静岡コシヒカリ「静岡そだち」の試食販売や静岡市中央卸売市場での農産物販売を計2日間行いました。

人と人との距離が遠くなっているといわれる今の時代にお客様とふれあい、言葉を交わすことが接客の基礎・基本であると改めて感じる研修となりました。



大塚 雄太
くらし支援部 総合エネルギー課



場所：静岡市中央卸売市場（静岡市葵区）

岡本 康生
畜産部 畜産バイオセンター



場所：静岡市中央卸売市場（静岡市葵区）

興津 美佑
生産資材部 肥料農業課



場所：静岡市中央卸売市場（静岡市葵区）

岩崎 遥夏
畜産部 畜産課



場所：KADODE OOIGAWA（島田市）

市川 歩
建設部 一級建築士事務所



場所：KADODE OOIGAWA（島田市）

藤川 俊朔
西部支所 西部みかん園芸課



場所：Aコープ引佐店（浜松市浜名区）



きらび香

宝石のような輝きと甘さ際立つフルーティーな香りが特徴。
みずみずしく口当たりなめらかな静岡いちごの至高の一粒



紅ほっぺ

大粒果実に甘みとコクが織りなす絶妙なバランス
鮮やかな紅色と適度な酸味・コクが特徴の静岡いちごの代表格

担当：みかん園芸部 野菜花卉課 (TEL：054-284-9714)

